



日本赤十字社

埼玉県有功会

会報

2025年8月

第28号



特集

埼玉安全赤十字奉仕団の歩みとこれから 「地域の安全・安心を支えて50年」

会長挨拶

ようやく夏も盛りを過ぎまして、ますますご健やかにお暮らしのことと存じます。

去る7月7日に、50名の会員様にお集まりいただき、今年も総会を開催することができました。今回は、武藏一宮氷川神社の権宮司をお招きした講演会や、新規会員様のご紹介など、皆様と楽しいひとときを過ごすことができました。ご参加いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

「赤十字」の認知度は高く、誰もがこのマークを一度は見たことがあるのではないでしょう。その一方で、公的団体という印象が強いため、赤十字が寄付を財源として活動していることは意外と知られていません。赤十字が活動し続けるためには、多くの方のご支援が必要であるということを、広くお伝えしていきたいと考えております。

引き続き、皆様のご理解とご協力を願っています。

会長 利根 忠博

特 集



埼玉安全赤十字奉仕団の歩みとこれから 「地域の安全・安心を支えて50年」

埼玉安全赤十字奉仕団は、半世紀にわたり地域の安全・安心を守る活動を続けてきました。50周年という節目に、その歩みを振り返り、次の時代へとつなぐ想いをご紹介します。

“楽しいから続いている！”

安全奉仕団員として30年以上にわたり、赤十字の講習事業を支えてくださっている委員長の丸山まゆみさんにお話を伺いました。

「講習受講者の安全が一番。そして、団員同士が仲良く、楽しく活動することを大切にしています。活動を通じて、たくさんの人に出会えたり、色々な経験ができ、私自身もボランティア活動が楽しいから続いているんだと思います。」

平成30年に委員長に就任した丸山さんは、コロナ禍での活動を振り返り、「講習も中止になってしまい、活動が全くできない暗黒時代でした。団員が集まれない中、"人と人との心をどうやってつなぐか"を考え、書面会議を行ったり、動画配信によって技術の向上を目指すなど、試行錯誤の日々でした。今、活動が再開できているのがとてもありがたく、これからも日赤埼玉県支部と二人三脚で講習等の普及に尽力していきたいと思います。」



地域に根ざした50年の軌跡

団の結成は昭和49年(1974年)。各種講習の開催や、防災・減災の啓発活動を中心に、地域住民の“いざという時に行動できる力”を育んできました。団を東部・西部・南部・秩父の4つに分け、地域に根差した活動を展開しています。

50年という年月が経っても、「苦しんでいる人を救いたい」「地域の役に立ちたい」という団員一人ひとりの想いは変わることなく受け継がれています。



丸山さんと団員の皆さん



一次救命処置の体験会

いざという時に行動できる人に

安全で豊かな地域を目指して

株式会社 第一コーポレーション(有功会法人会員)

このたび日赤の講習を受講し、緊急時における適切な判断と初期対応の重要性を改めて実感しました。AEDの使用方法、熱中症の基礎知識・対応など、命を守るために技術と意識を身につける貴重な機会となりました。当社の理念「豊かな暮らしを育む」を実現するには、日々のサービスや業務の質を高めるだけでなく、万一の事態にも冷静に対応できる“人”としての備えが不可欠です。いざという時に行動できる「命をつなぐ力」を育み、地域社会の信頼に応える企業を目指してまいります。



会議室を会場に救急法講習を開催

…講習のご案内…

本誌をご覧くださっている皆様も、赤十字の救急法講習を通して「救える人」になりませんか?日本赤十字社では、救急法の他にもさまざまな講習を実施しています。お申込みをお待ちしております。

講習をご依頼の場合は ▼▼▼こちら▼▼▼

講習開催2か月前を
目途にお電話にて
ご相談ください



(TEL:048-789-7117)

アミューズメント事業部
総務課係長
井岡 貴之さん



行事・活動報告



Report

第54回有功会総会を開催

令和7年7月7日(月)、ホテルブリランテ武蔵野(さいたま市中央区)にて総会を開催。50名の方にご参加いただき、令和6年事業報告・決算および令和7年事業計画・予算が承認されました。第2部の講演では、武藏一宮氷川神社の権宮司 東角井真臣様をお招きし、令和10年に御鎮座2500年を迎える氷川神社について、数多くの史実に基づきお話しいただきました。講演後は食事会を行い、会員同士の親睦を深めました。

大きいなる宮居「武藏一宮氷川神社」

武藏一宮氷川神社の参道は中山道から南北に2km伸び、その長さは日本一。緑のトンネルのような氷川参道は大宮のシンボルとなっています。緑豊かな氷川参道を次世代に継承していくため、蛍の鑑賞会を実施するなど、地域と協働し取り組んでいます。講師の東角井様は、「強い願いがあるときは、ぜひ一の鳥居から参道を歩いていただくことをお勧めします」とお話ししていました。初詣には200万人以上が訪れる武藏一宮氷川神社。日赤埼玉県支部では、神社からの依頼により、大晦日から三が日にかけての臨時救護所開設や、神社職員がAEDの使い方を学ぶ救急法講習会などを行っています。



被災者のためなら…

食事会では、今年の6月末に皆野町で実施した「救護班要員研修」の様子等を動画でご覧いただきました。参加者からは「赤十字の活動をもっと多くの人に知ってもらいたい」とのお言葉をいただきました。



先着30名様
お申込みは
10月1日まで

ご案内

視察研修 『深谷赤十字病院と渋沢栄一翁ゆかりの地』のご案内

開催日: 12月3日(水)



お申し込みは
事務局(048-789-7117)あて
ご連絡いただきか、QRコードから▶



●深谷赤十字病院を視察

石川院長による講演会、理学療法士による健康体操体験

●ランチは深谷名物、郷土料理「煮ぼうとう」を堪能!!

割烹 楓(かえで)にて、かき揚丼やお刺身などが
セットになった煮ぼうとうセットをお楽しみください

渋沢栄一の
大好物!

●旧渋沢邸「中の家」見学

渋沢栄一アンドロイドシアターを鑑賞

●道の駅「おかべ」でお買い物



新春の集い

令和8年1月19日(月) ホテルブリランテ武蔵野にて

会員の皆様が一堂に集い、新年を祝う懇親の機会です。

日本赤十字社埼玉県支部長である大野知事の出席を予定しています。

突撃レポート！ 日赤職員が“いま”伝えたい 人



突撃レポーター
振興課 藤寄 香奈恵

4月に日赤東京都支部より異動して参りました！
埼玉県の美味しいもの巡りを楽しんでいます♪

出逢いを大切に。



ミカド電子株式会社
代表取締役

芝崎 健寿さん



防災・防犯で命を守るために、主に火災警報器の製造を行うミカド電子株式会社の芝崎社長。“ものづくり”にこだわってきた同社では、防災に関する商品を取り扱うなど社会の変化に合わせた事業展開をしながらも、“常に社会に役立つものを”と取り組んできました。なんと芝崎社長は街頭での義援金募集のボランティア経験があるとのこと。「通り過ぎる人が多い中、しばらくすると戻ってきて募金してくださった方もいました。」初めての社会貢献は“違和感”や“恥ずかしさ”を感じたそう。それでも最初の一歩を踏み出して以降、「社会貢献をすることで自分を律することができるんです」と話します。そんな社長の姿を見て、社内でも社会貢献への意識が少しずつ高まってきたそうです。「当社の社是は『出逢い』。これからも人と人の出逢いを大切に、良いものを作り続けます。」

優しい語り口調で熱い思いを語ってくださった芝崎社長。「トゲトゲした時代ですが、人種、国籍問わず、苦しんでいる人を救う赤十字は、これからも頼もしい存在です！」と心からのエールをいただきました。

お礼とご報告

令和6年度のご協力について

有功会員の皆様より赤十字活動資金として、387件 44,278,116円のご協力をいただきました。たくさんの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

会員特典

『健康管理支援事業』のご案内

埼玉県内の赤十字病院で健康診断を受けた際に、会員の方に対して、費用の一部(3,000円)を補助いたします。皆様のより一層の健康増進を図るため、ぜひご活用ください。お問い合わせは事務局(048-789-7117)まで。

会報誌バックナンバーのご紹介



2023年12月
第24号



2024年3月
第25号



2024年7月
第26号



2025年3月
第27号

こちらから
ご覧いただけます



新入会員のご紹介

(令和7年2月～令和7年7月)

- 【個人】 市川 誠一 様(深谷市)
伊藤 博 様(千葉県)
小柳 光春 様(深谷市)
小谷野 堅太郎 様(さいたま市浦和区)
佐藤 徳之 様(深谷市)
細野 正 様(戸田市)
堀田 芳生 様(草加市)
森尾 博之 様(さいたま市中央区)
山下 敬子 様(川越市)
- 【法人】 株式会社 イハシ 様(越谷市)
株式会社 日さく 様(さいたま市大宮区)

(50音順)

おくやみ

(令和7年2月～令和7年7月)

岩田 元晴 氏(三芳町)

戸塚 幸子 氏(深谷市)